

令和5年度 第1回学校運営協議会会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第10条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中津川工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年7月19日(水) 13:20～16:20
- 3 開催場所 中津川工業高等学校 仰星会館
- 4 参加者

会 長	松井 進	本校同窓会長
副会長	磯村 重之	本校育友会長
委 員	新田 正己	坂本地区民生児童委員長
	加藤 早苗	株式会社大同キャスティングス
	黒田ところ	中津川市議会議員(欠席)
	尾関里恵子	株式会社デンソーテン 中津川製作所(欠席)
	佐々木 瞳	三菱電機株式会社 中津川製作所(欠席)
学 校 側	加藤 昌宏	校 長
	伊藤 岳明	教 頭
	斉藤 良成	事務長
	藤浪 元明	教務主任
	水谷健太郎	生徒支援主事
	山田 豪	進路支援主事
	後藤 昭博	工業部長
	西尾 実咲	教務部：記録
- 5 生徒の活動について見学
工業高校生ものづくりコンテスト東海大会へ出場する生徒の活動について見学
電気工事部門・木材加工部門・測量部門
- 6 本年の取組について
学校の各担当より説明
- 7 会議の概要(協議事項)
 - (1) 会長・副会長の選出について

会長	松井 進	本校同窓会長
副会長	磯村 重之	本校育友会長

(2) 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画の承認について承認をいただいた。

(3) 社会で必要な力、学んでおくべき知識について

意見1：発想の転換や記憶力、判断力については多くのデータの蓄積により処理をすることによって機械に勝てない。そのため、ないものを創造する想像力を身に付けてほしい。考え方は「やきにく」である。「や：やわらかい頭を作る」「き：気が付いてほしい」「に 似たものを探す(知恵はいろんなところにある)」「く：苦勞すること」を考えることによって新しい知恵に繋がる。

また、今日生徒と話す中でもプレゼンテーション能力が不足しているように感じた。もっと自信を持って伝える、話す力を身につけて欲しい。

意見2：AIなど機械が進化する中で、AIに勝てないと言っているのではなく、人間にしかできないことをやっていくことを見つけて欲しい。

意見3：歳を重ねるごとにリベラルアーツ的な学びが重要となってくる。色々な場面でどのように取り組んで解決していくかが重要になる。そのためには若いうちに多くの本を読んで知識を蓄えて欲しい。

意見4：企業が望む生徒像は、コミュニケーション能力(相談できる力)である。業務を行っていく上で分からないからできないのではなく、分からないことを聞くことで仕事が成りたっていく。また、仕事をしながら自分で考え、工夫する力が必要となってくる。そんな中で叱られたからもう会社行きたくないとなるのではなく、失敗をした中から学び次にどのように活かしていくか経験を積んで欲しい。

学 校：昨年度、企業様のご協力を得ながら生徒会と身だしなみについて検討を行いました。身だしなみについてどのように考えられますか。

意見5：身だしなみには清潔感が大切だと思う。

意見6：イベント(入社試験等)に対応できる必要があるのではないかと。入社試験などではやはり第一印象が大切である。受けるための意識を大切にする必要がある。

意見7：平均値を上げることより、一部でも特徴のある生徒を必要とする。

(4) 工業を理解していただくための地域連携について

意見1：アピールできる点を明確にすると良い。資格取得や就職など。

意見2：飛び抜けた変わったものを作ると良い。企業力を身につけるなど。

意見3：工業高校を知っていただくために自分の子どもで考えると、「吹奏楽が好きで入学したい」「大学の指定校を持っている学校」「地元就職に有利」などの点があった。中学2年生ごろから自分で調べているので、HP等で情報発信をしていく必要がある。

意見4：部活動がやりたいと入学してきている生徒もいる。

学 校：部活動は魅力のひとつではあるが、時代は「働き方改革」などによって制限をされる部分もある。

意見5：就職についてとても良いと聞くが。

学 校：本年度の求人も非常に多くいただいている。一人っ子など子どもが減ってきている中で、求人が多いため、地元などで自分の希望する企業を受験できている。

意見6：学校のアピールは、入学者アンケートを見ると有効に出ている。

(5) 生徒が減少していく中で、本校はどのように変わるべきか

意見1：生徒数が減少しているのであれば、女子生徒を増やすことを考えなければいけないのでは。

意見2：例えば女子の制服を変えたりすることで、入学者数が変わることもある。

学 校：制服については多治見地区ではブレザーが中心で、中学校でもブレザーとなっている所もある。思い切って自由という考え方もできる。

意見3：大きく何かを変えることが大切ではないか。校舎を改築する。リニアの駅から学校が見えるよう整備するなどインパクトも大切である。

(6) その他（学校運営協議会の開催日等）

第2回 10月末～11月中旬

第3回 1月末～2月上旬

8 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営方針について説明を行い、全委員より承認が得られた。議事前、工業高校生ものづくりコンテスト東海大会に参加する生徒（3部門）の活動について見学をしていただいた。生徒から協議内容や採点基準などを説明し、委員の方々からは興味を持って話しを聞いていただき競技を頑張りたいというご意見をいただいた。また、こういった機会積極的に伝えることができるプレゼンテーション能力や人と関わるためのコミュニケーション能力、新たなことを学び続ける力が身につくことでさらに社会人となって成長できるのではというご意見もいただいた。今後、生徒が減少していく中で、積極的に本校の魅力をしっかりHP等で地域や中学生にPRしていきたい。